



78200-XLF-K1S0 FIT ASSIST METERS

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
安全にドライビングを楽しんでいただくために、以下の注意点を正しくご理解の上、
ご使用下さいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の形式の確認を行ってください。
[適応車種] FIT DBA-GE6, 7, 8, 9

DAA-GP1

3. アシストメーターキットの装着は、ホンダディーラーもしくは専門の整備工場等（認証工場）で行って下さい。

※本書の作業内容は、自動車整備士及び整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。経験の無い方のみでの組付け作業は、ケガや事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険です。また、保障の対象外になりますので絶対に行わないで下さい。

4. 本製品は電子機器です。衝撃および湿気には十分注意し取扱い下さい。また、分解や改造は絶対に行わないで下さい。
5. 純正パーツの取付け・取り外しはサービスマニュアルに従い作業を行って下さい。
6. 本製品の加工や分解、組付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 営業1課

【営業時間 10:00~17:00 土日、祝日除く】

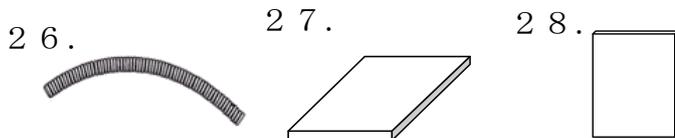
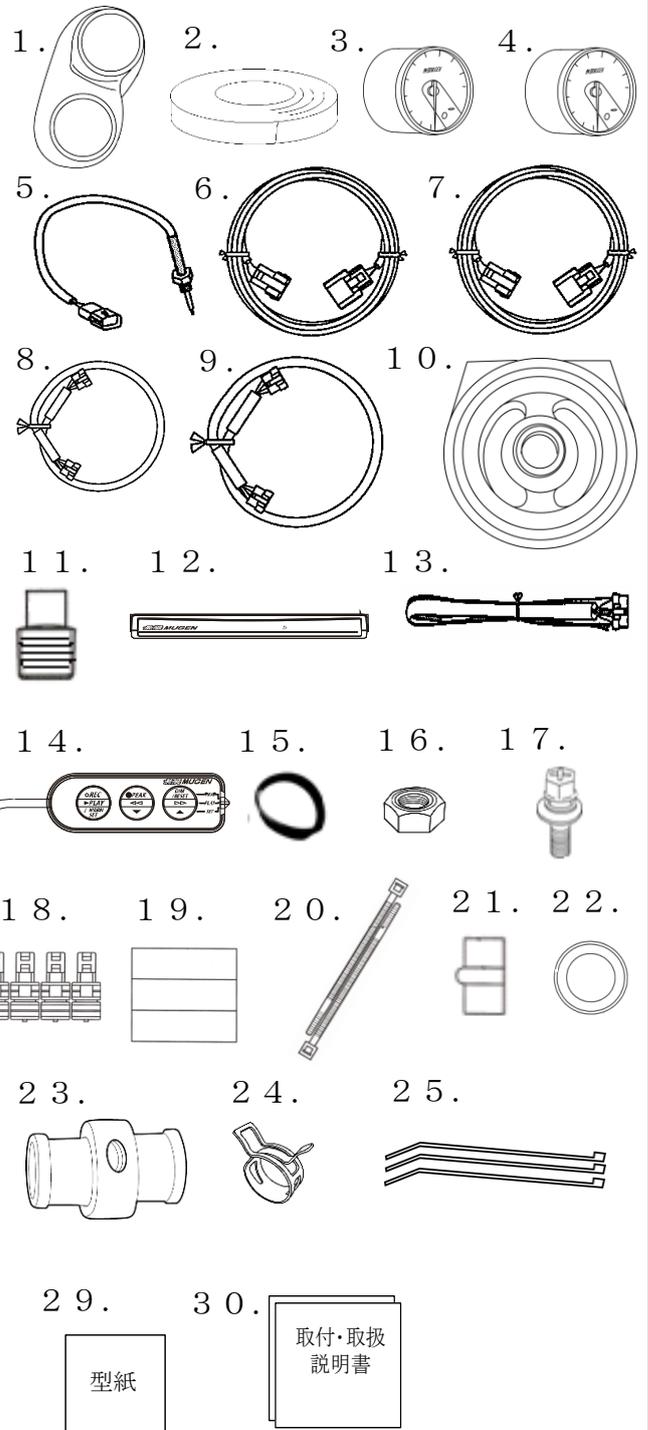
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. 定期的にオイルや水漏れを点検し、取り付け状態を確認してください。損傷等の異常がある場合は速やかに補修を行ってください。
2. 走行中は安全の為、長時間凝視しないで下さい。前方不注意等による事故の原因となり大変危険です。
3. 天候その他の条件によっては、アシストメータのガラス面が反射して見にくい場合があります。
4. アシストメータを取り付けることにより、前方の視認に影響を与える場合があります。運転には十分注意してください。
5. スイッチユニットの操作は必ず安全な場所で停車した状態で行って下さい。走行中の操作は前方不注意等による事故の原因となり大変危険です。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
1.	メータフード	1
2.	両面テープI (12mm×0.8m)	1
3.	ウォーターテンプメータ	1
4.	オイルテンプメータ	1
5.	温度センサ(水温、油温用)	2
6.	水温センサハーネス (2極桃)	1
7.	油温センサハーネス (2極茶)	1
8.	メータハーネス (4極 0.25m)	1
9.	メータハーネス (4極 2.0m)	1
10.	オイルセンサアタッチメント	1
11.	キャップボルト	1
12.	コントロールユニット	1
13.	電源ハーネス	1
14.	スイッチユニット	1
15.	メータ取付けゴム	2
16.	コントロールユニット取付けナット※	4
17.	コントロールユニット取付けボルト※	4
18.	エレクトロタップ	4
19.	両面テープII	1
20.	タイラップ (白)	2
21.	ハーネスクリップ※	1
22.	シールテープ	1
23.	水温センサアタッチメント	1
24.	ホースクランプ	2
25.	タイラップ (黒150mm)	15
26.	コルゲートチューブ	1
27.	スポンジテープ (60×60mm)	2
28.	ウレタンスポンジ (70×50mm)	3
29.	型紙	1
30.	取付・取扱説明書	1



※本取扱説明書に従っての取付けの際は使用不要

【取り付け時に用意していただくもの】

- ・シールテープ・ビニールテープ・エンジンオイル・ロングライフクーラント
- ・コーキング剤・アルミテープ・イソプロピルアルコール・サンドペーパー#80~120

【必要工具】

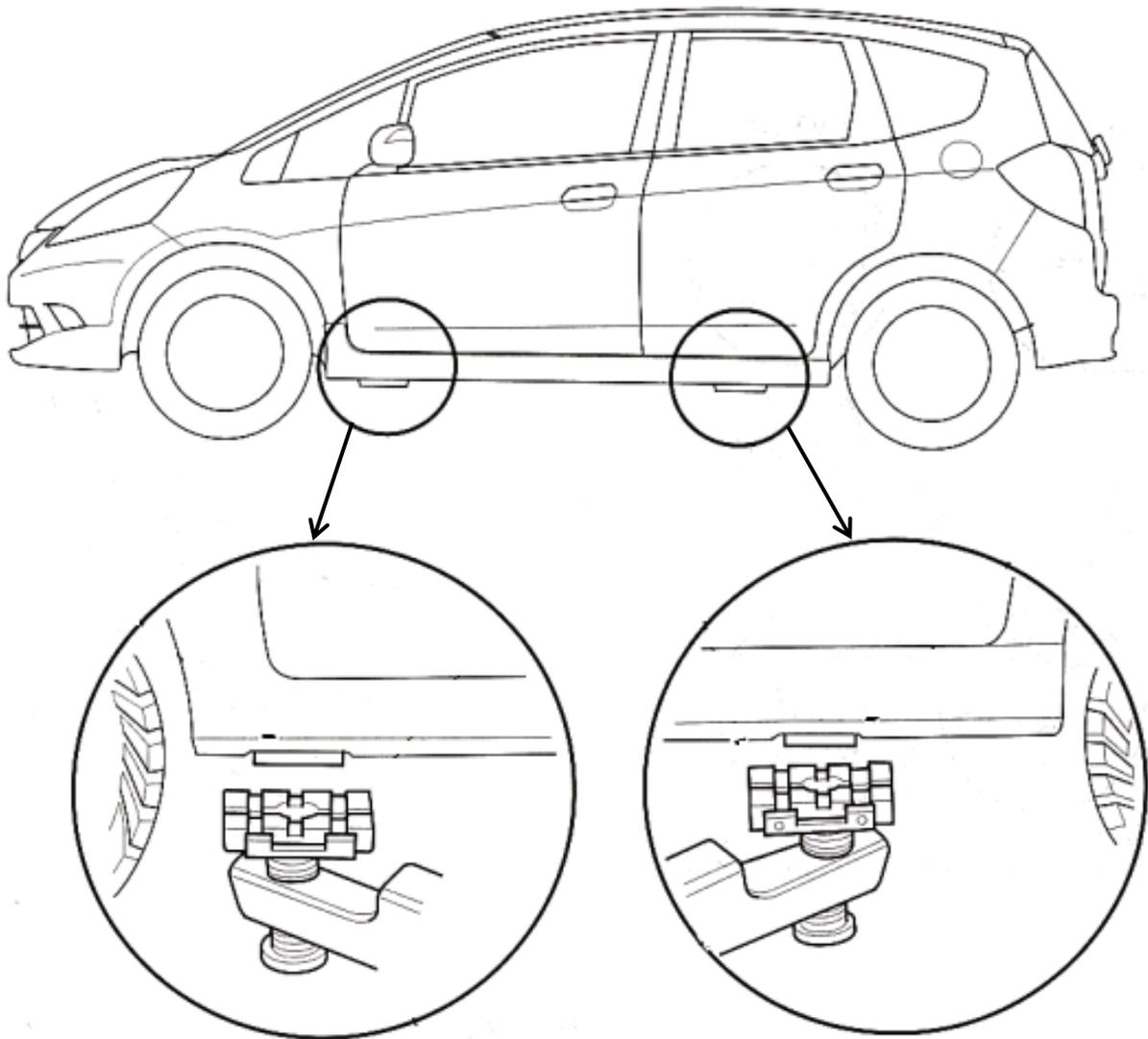
- ・ボックスレンチ ・オイルフィルタレンチ ・ドライバー (プラス・マイナス)
- ・カッターナイフ ・ドリルφ3・φ6・φ8・φ12・φ15
- ・ニッパー ・プライヤー

I. 取付準備

《注意》・車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

①リフトアップまたはジャッキアップし、サイドシル補強部にリジットラックをあてがう。

②リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



注意

- ・ 指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ ボディに傷をつけないように注意すること。
- ・ リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し、安全に注意し作業を行うこと。
- ・ ジャッキアップ時は、必ずリジットラックを使用すること。
- ・ 短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対にしないこと。
- ・ ジャッキアップしたままで、車両の下には入らないこと。
- ・ フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ずかけること。

II. 水温センサの取り付け

※純正パーツの取り外しはサービスマニュアルを参照すること。

※エンジン停止直後は各部が高温になっている為、作業は行わないで下さい。火傷を負う恐れがあり大変危険です。

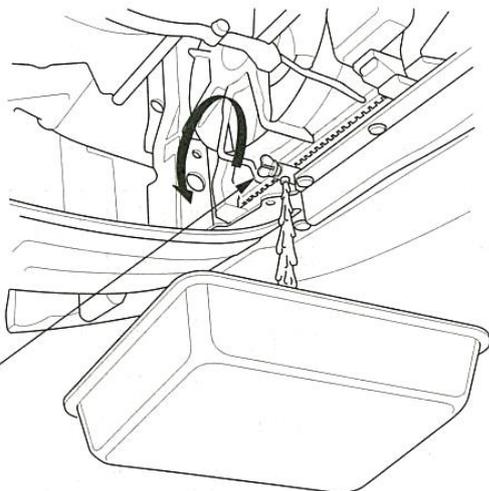
①エンジンが冷えているのを確認し、ラジエータキャップを取り外す。

※水温が高い時にキャップを外すと、冷却水に圧力が掛かっており冷却水が吹き出す為、水温が下がってから静かに開けること。

※火傷に注意すること。

②ドレンコック (A) を弛め、冷却水を抜き取る。

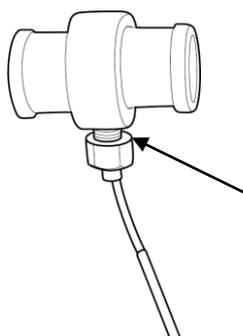
※エンジンアンダカバー装着車はサービスマニュアルに従い、取り外してから冷却水を抜き取ること。



※冷却水を再利用する時は、清潔な容器に回収しておくこと。

③温度センサのネジ部にシールテープを2巻き程度巻き付け、水温センサアタッチメントに規定トルクで締め付ける。

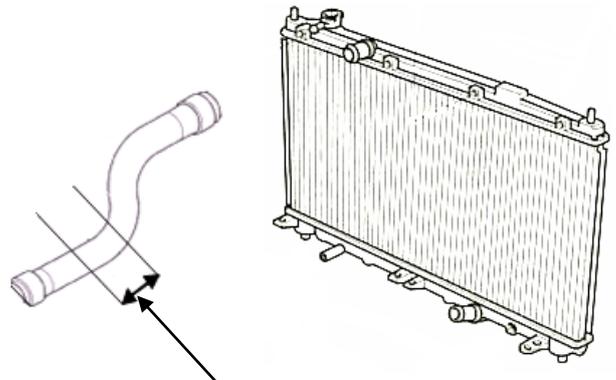
※締め付けトルク 18 N・m (1.8 kgf・m)



シールテープを巻く
締め付けトルク 18 N・m
(1.8 kgf・m)

④ラジエータのアップホースのストレート部分をカット (約15mm) する。

※ホースは垂直にカットすること。



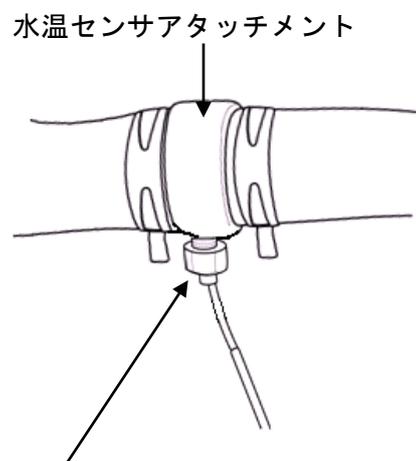
アップホースのストレート部分を

⑤付約15mmカットする

たアップ

ホースの両側に通し、水温センサアタッチメントを下図のように取り付ける。

※エア溜まりを防ぐ為、温度センサを水平から下方に向けて取り付けること。



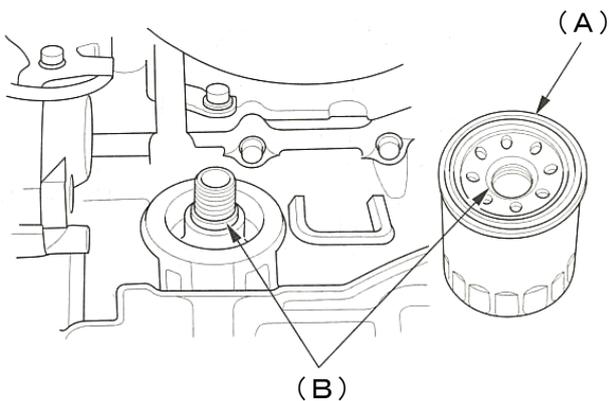
温度センサを水平から下方に

⑥冷却水の取り付けトルク (A) を締め付ける。

⑦ラジエータキャップを取り付ける。

Ⅲ. 油温センサの取り付け

①オイルフィルタレンチでオイルフィルタを取り外す。

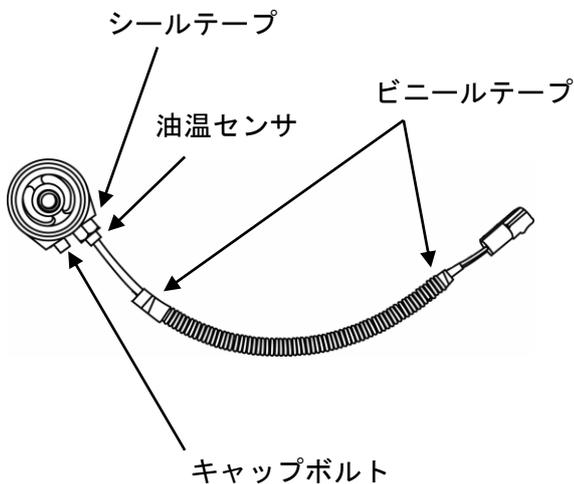


※オイルフィルタの着座部 (A)、ネジ部 (B) 及びパッキンの打痕、損傷を点検する。
 ※オイルフィルタ内のオイルが出てくるので、注意すること。

②温度センサとキャップボルトのネジ部にシールテープを2巻き程度巻き付け、オイルセンサアタッチメントに規定トルクで締め付ける。

※締め付けトルク 1.8 N·m (1.8 kgf·m)
 ※温度センサの先端がオイルセンサアタッチメントに接触しないようにすること。

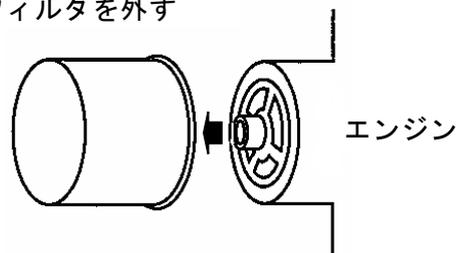
③コルゲートチューブを200mm程度切り、センサのハーネスに被せ、両端をビニールテープで固定する。



④オイルセンサアタッチメントを取り付ける。
 ※Oリングにオイルを塗布すること。
 ※センサ取り付け時、ハーネスのねじれに注意すること。

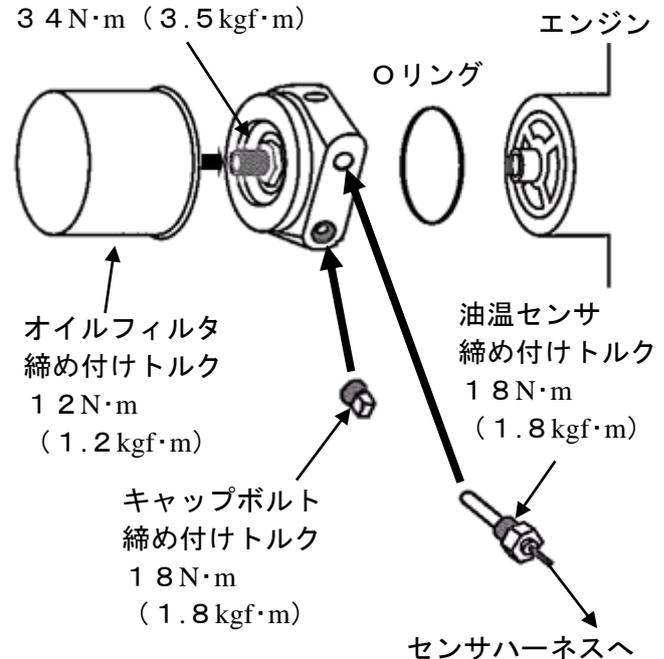
※締め付けトルク 3.4 N·m (3.5 kgf·m)

オイルフィルタを外す



オイルセンサアタッチメント締め付けトルク

3.4 N·m (3.5 kgf·m)



オイルフィルタ締め付けトルク
 1.2 N·m
 (1.2 kgf·m)

キャップボルト締め付けトルク
 1.8 N·m
 (1.8 kgf·m)

油温センサ締め付けトルク
 1.8 N·m
 (1.8 kgf·m)

IV. ハーネスの引き込み(推奨位置)

⑤④の図に従いオイルフィルタを取り付け、規定回転角または規定トルクで締め付ける。

※締め付けはパッキン着座後、オイルフィルタレンチを使用し、締め付けること。

規定回転角 3/4回転

締め付けトルク 12N・m (1.2kgf・m)

※規定回転角にて締め付ける場合はサービスマニュアルを参照のこと。

※Hi-Performance Oil Element (15400-XK5B-0000)を使用の際はOil Element梱包箱に記載の取り付け方法に従って取り付けること。

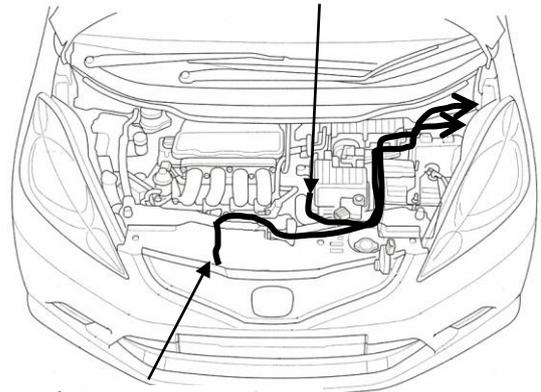
①バッテリーのマイナス端子の接続を外す。
※メモリ機能の記憶が消去される場合があります。

②温度(油温、水温)センサ、カプラをそれぞれのハーネスに接続する。

③水温センサハーネスと油温センサハーネスを、ECUカバー裏側の左側ライト後方から左側フロントフェンダー内に引き込む。

※コントロールユニットを推奨位置以外への設置の場合、設置場所によっては左ライト後方からハーネスを引き込むとハーネスの長さが不足する為注意すること。

水温センサハーネス

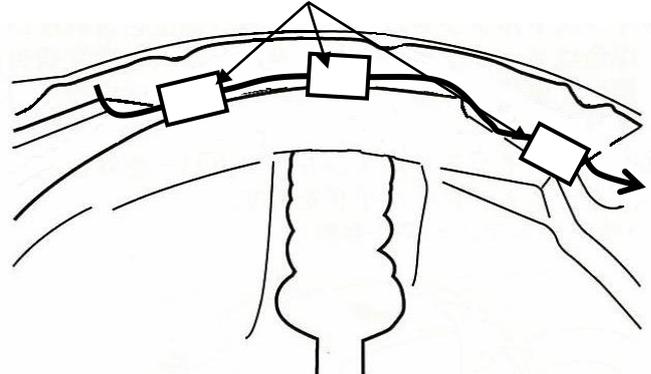


油温センサハーネス

④エンジンルーム内のセンサハーネスにコルゲートチューブを巻き、両端部および15~20cm間隔でビニールテープを巻き付ける。要所にて車両のハーネス等にタイラップにて仮固定する。

⑤左側インナーフェンダーを外し、フロントホイールハウスアップパーメンバーにセンサハーネスを沿わせ、ウレタンスポンジにて固定する。

ウレタンスポンジ



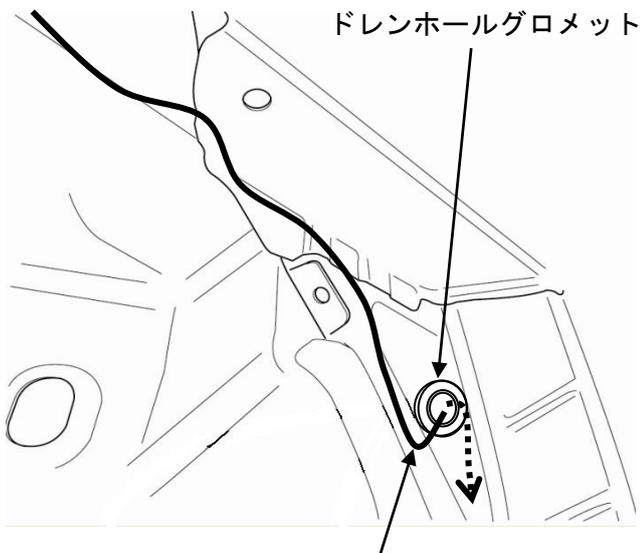
※ウレタンスポンジにてクリップ穴を塞がないように注意すること。

※ウレタンスポンジ貼付け面はイソプロピルアルコール等にて油分と汚れ等をきれいに拭き取っておくこと。

※任意の位置にスポンジテープをコルゲートチューブに巻きつけ車体との防音を行うこと。

⑥ドレンホールグロメットに切り込みを入れ、センサハーネスを車内に引き込む。

センサハーネス

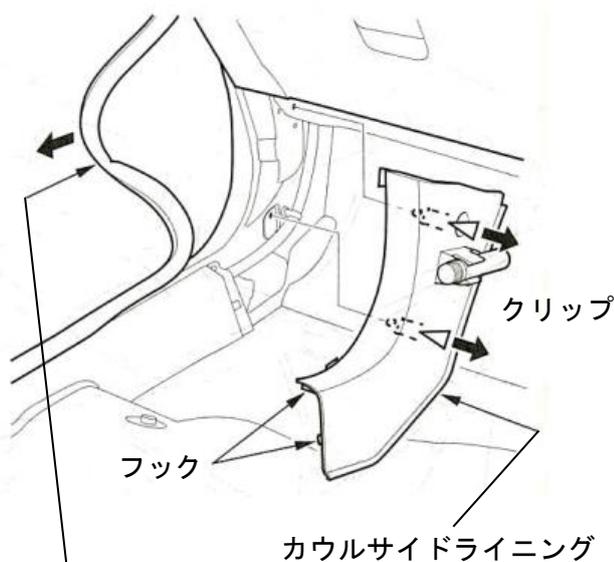


車内に入る手前でセンサハーネスを一度下方向に弛ませること

※他のハーネスへの損傷と引き込み時のセンサハーネスのカプラ破損に十分注意すること。

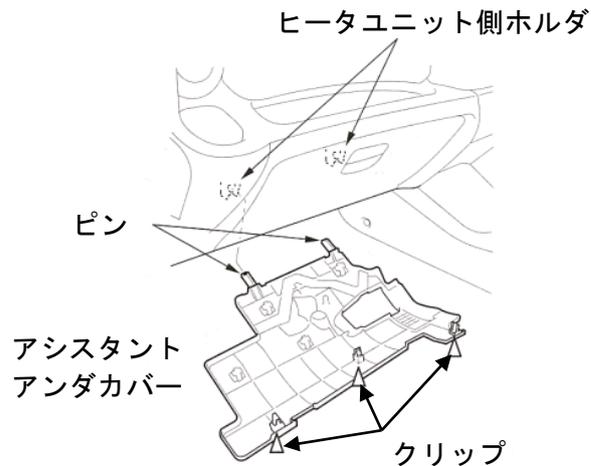
⑦ドレンホールグロメットの切り込み部分に雨水等が入らないようにコーキング剤等で防水処理をすること。

⑧フロントドアオープニングシールをめくり、助手席側カウルサイドライニングを取り外す。

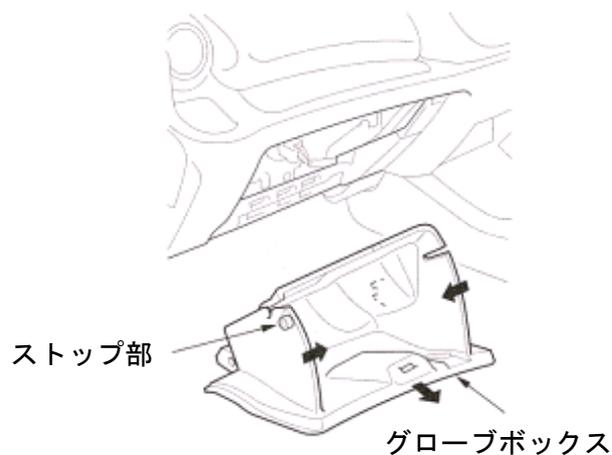
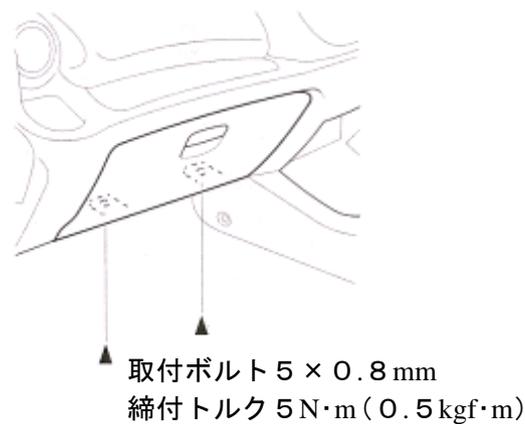


フロントドアオープニングシール

⑨アシスタントアンダカバーの手前側を下げ、クリップを外し、ピンをヒータユニット側のホルダから引き抜き、アシスタントアンダカバーを取り外す。



⑩取り付けボルトを外し、グローブボックスを保持しながら、両側のグローブボックスストップ部をインストルメントパネルから外して、グローブボックスを取り外す。



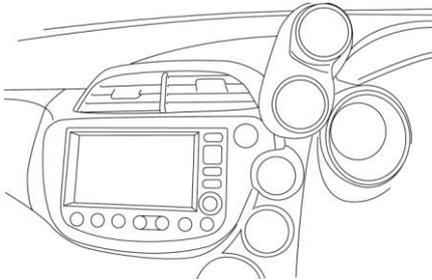
⑪車内に引き込んだハーネスを他の部品や配線に干渉しないようにアシスタントアップトレイ裏に引き込む。

V. 車内への設置 (コントロールユニットは推奨位置)

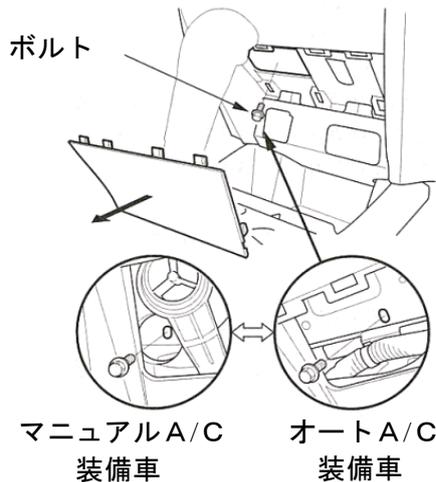
※コントロールユニットを推奨位置以外に設置の場合は⑦, ⑨, ⑪の作業は行わない為注意すること。

※推奨位置以外に取付ける場合はハーネスを含め運転操作や可動物の妨げにならない場所に取り付けること。

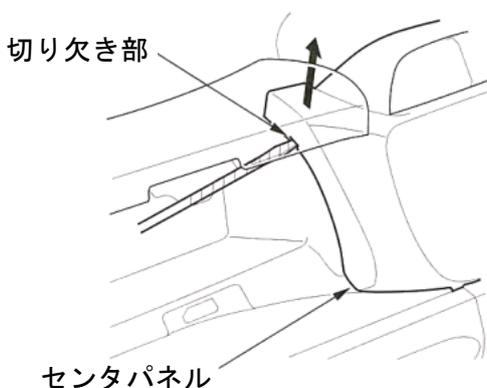
- ①インストルメントパネルにメータフードを仮置きし、マーキングする。



- ②センタロアカバーを取り外し、開口部よりボルトを外す。



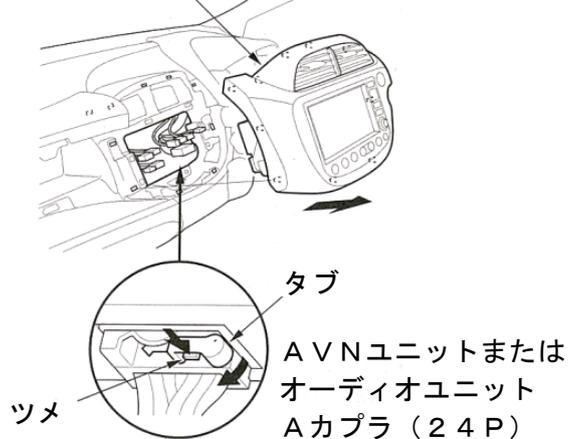
- ③アシスタントアップパトレイリッドを開き、センタパネルの切り欠き部にマイナスイヤを差し込み、上に引上げてセンタパネルを少し浮かせる。



※マイナスイヤには損傷防止用の保護テープを巻き付け、センタパネルを無理にこじらないこと。

- ④センタパネルを引出し、ハザードスイッチカプラ及びAVNユニット (またはオーディオユニット) 各カプラの接続を外す。

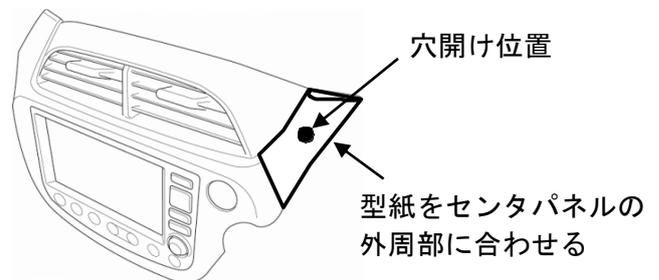
センタパネル



※AVNユニットのカプラを外す際は初めにフィーダ線 (Gカプラ、Eカプラ) の接続から外し、オーディオユニットのカプラを外す際は初めにフィーダ線 (Gカプラ) の接続から外すこと。

※AVNユニット (オーディオユニット) Aカプラ (24P) は、カプラのツメを押しながら、タブを押し上げて接続を外す。

- ⑤取り外したセンタパネルに、付属している型紙を使用して、メータハーネスを通す穴の位置決めを行う。

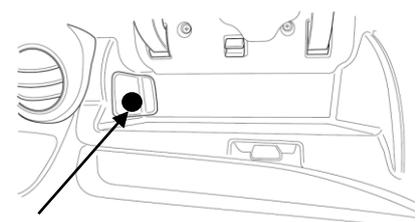


- ⑥穴開け位置が裏のクリップと重なっていないことを確認し、 $\phi 12$ の穴を開ける。

※3mmのドリルにて下穴をあけた後、少しずつ穴径を大きくすること。

※バリの処理を行うこと。

- ⑦アシスタントアップパトレイリッドを開き、左側面のフタに $\phi 15$ の穴を開ける。

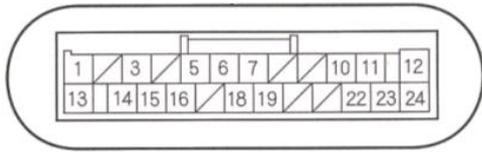


$\phi 15$ にて穴開け

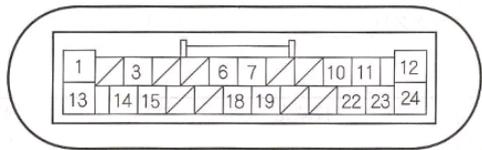
※3mmのドリルにて下穴をあけた後、少しづつ穴径を大きくすること。
 ※バリの処理を行うこと。

⑧電源ハーネスをAVNユニット（またはオーディオユニット）のAカプラ（24P）と接続する。
 Aカプラメス端子側のコード配列

- ・AVNユニット
- ・リヤカメラ付オーディオユニット



・オーディオユニット



車両ハーネスカプラ

HYBRID車以外

- 1 黒・・・GND線（黒線と接続）
- 13 灰・・・イルミ線（白線と接続）
- 14 紫・・・ACC電源線（橙色と接続）
- 24 桃・・・常時電源線（赤線と接続）

HYBRID車

- 12 黒・・・GND線（黒線と接続）
- 13 灰・・・イルミ線（白線と接続）
- 14 紫・・・ACC電源線（橙色と接続）
- 24 桃・・・常時電源線（赤線と接続）

※ハンダ付けのやり方

- (1) 配線の被覆を剥く
- (2) 剥いた配線を巻き付ける
- (3) ハンダを盛る
(ハンダがよく浸透したのを確認する)
- (4) 絶縁テープをしっかりと巻く

※エレクトロタップの使い方

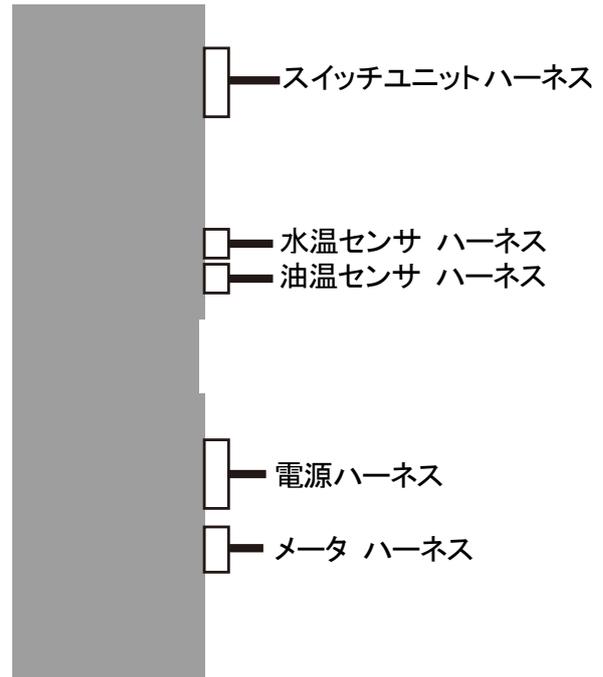
- (1) 車両配線
 - (2) ここまで配線を差しこむ
- メーター側のケーブル
- パチンと音がするまで押さえる

※ハンダ付けの際は火傷に注意すること。
 ※エレクトロタップを使用する場合は、確実に接続し、スペースに注意すること。

⑨ ⑦にて開けておいたアシスタントアップトレイ左側面のフタの穴からセンサハーネス、メータハーネス（2.0m）、電源ハーネスを引き出しておく。

⑩ ⑨にて引き出したセンサハーネス、メータハーネス（2.0m）、電源ハーネスを下図に従いコントロールユニットに接続する。

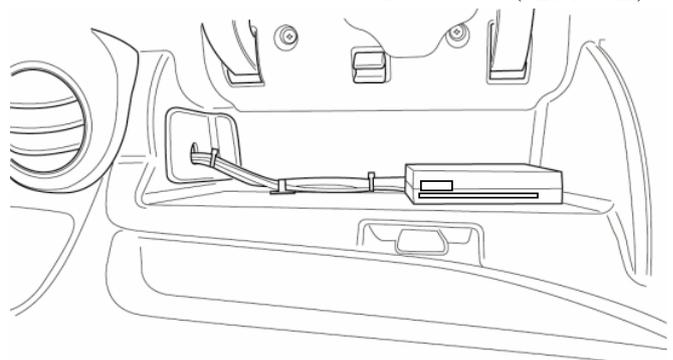
コントロールユニット



※ハーネスはノイズなどの障害を発生させないように取り回すこと。
 ※余ったハーネスを束ね、タイラップで固定すること。
 ※コントロールユニットのカプラ指示に従い、接続すること。

⑪アシスタントアップトレイにコントロールユニットを両面テープⅡにてしっかりと圧着させる。

コントロールユニット取り付け完成図(推奨位置)

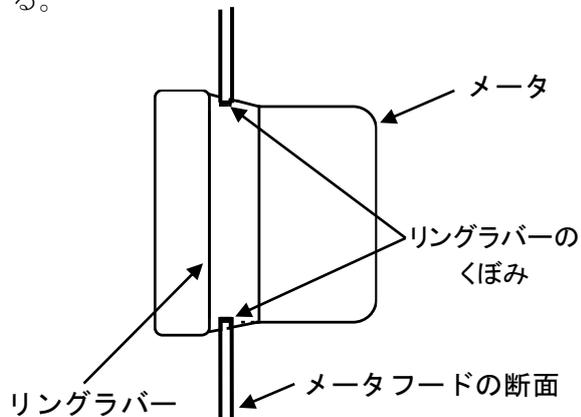


※両面テープⅡの貼付け面はイソプロピルアルコール等にて油分と汚れ等を拭き取っておくこと。
 ※気温が10℃以下の場合には両面テープを暖めてから貼付ること。
 ※製品番号ラベルの位置には両面テープを貼らないこと。

⑫ ⑥にて開けておいたセンタパネルの穴にメータハーネス（2.0m）を通し、センタパネルをインストルメントパネルに取り付ける。
 ※各カプラの接続を忘れないこと。

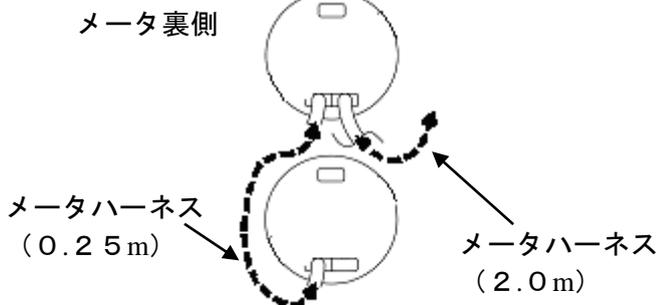
⑬スイッチユニットを任意の位置に両面テープを用いて貼り付ける。
 ※ハーネスを含め運転操作や可動物の妨げにならない場所に取付けること。
 ※製品番号ラベルの位置には両面テープを貼らないこと。

⑭メータに付属のリングラバーを通し、ゴムのくぼみにメータフードが入るよう押し込んで装着する。



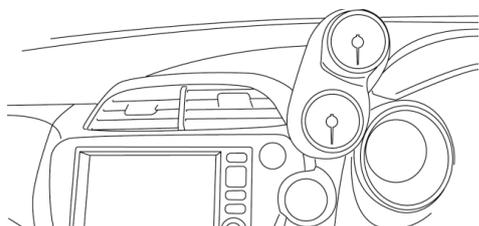
※ゴムのくぼみに入らない場合は無理に挿入せず、サンドペーパーでメータフードのメータ穴を円周方向に削り挿入すること。削り過ぎるとメータを固定できなくなる為注意すること。
 ※挿入する際に潤滑油等を使用しないこと。

⑮⑫にて通しておいたメータハーネス (2.0 m) をメータに接続し、メータハーネス (0.25 m) にて残りのメータ間を接続する。



⑯両面テープ I をメータフードに貼り付けた後メータフードをインストルメントパネルに①にてマーキングした位置に圧着して固定する。
 ※両面テープ I の貼り付け面は、イソプロピルアルコール等にて油分と汚れを拭き取っておくこと。
 ※気温が 10℃以下の場合は両面テープを暖めてから貼付けること。

メータフード取り付け完成図



⑰エンジンルーム内のセンサハーネスを、仮固定していたタイラップを本締めして固定する。
 ※センサハーネスに無理な曲げを加えないように注意する。

⑱取り外していたグローブボックス、アシスタントアンダカバー、助手席側カウルサイドライニングを取り付ける。

※エンジン アンダ カバー装着車は取り付けを行うこと。

⑲ジャッキアップを降ろす。

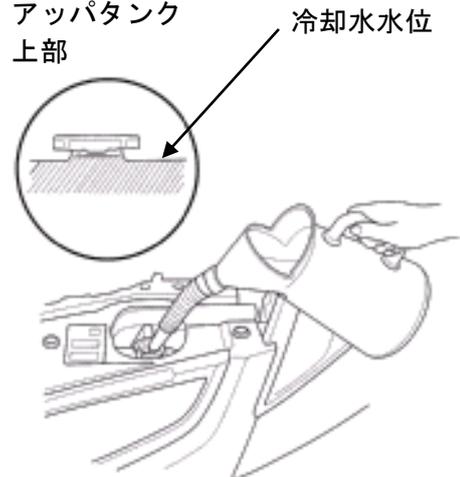
⑳バッテリーのマイナス端子を接続する。

㉑エンジンオイルの量を点検し、必要ならば補充した後、冷却水を入れエア抜きを行い、エンジンオイル・冷却水の漏れがないか点検する。

【エア抜き方法】

- ①ドレンコックが閉まっているか確認する。
- ②ラジエータキャップを外し、冷却水をラジエータアッパタンクまで補充する。

ラジエータ
アッパタンク
上部



- ③エンジンを規定のアイドル回転数より若干高目 (約 1,500 rpm) にし、ラジエータファンが 2 回作動するまで暖機する。
- ④エンジンを停止し、再度アッパタンク上部まで冷却水を補充し、同時にリザーバタンクの上限 (MAX) まで補充する。
- ⑤再度エンジンを始動し、約 1,500 rpm で液面が下がらないことを確認し、ラジエータキャップを取り付ける。
 ※液面が下がる場合、更に冷却水を補充する。

